



広報うらにし 1月号

第 144号
2015 1月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部

・謹賀新年

「月の走りは馬の走り」で一年が終わりました。一年、10代は10km、60代は60kmに感じられるとのこと。

その、1年を振り返ってみますと、祭広場の駐車場化に、市による保育園分園建設の計画が出され、自治会初の臨時総会を開催し、意見交換の結果、諸条件をつけ建設容認に至りました。

また、モノレール駅の仮称「浦西駅」が「てだこ・浦西駅」と命名決定されたことは、後世に誇れることだと思います。文化祭も継続開催、初の防災訓練、放課後支援教室も開催。成人祝いも、歌碑巡りも10回目を数えました。

少子高齢化の進むこの自治会、子や孫を呼び戻し、昔の活気を取り戻したいものです。本年も、会員皆様のご意見を聴きながら、住みよい地域作りを目指します。宜しくお願い致します。



・琉球至宝の展示会【韓国】

12月上旬、韓国ソウルの国立古宮博物館で開催された「琉球王国展」を見学に行った。国宝・琉球王の冠を始めとする琉球王国の至宝120点を集めて展示するもので国外では初の試みとのこと。博物館友の会会長の友人に誘われて参加したもの。驚かされたことは、琉球王朝は彼の地では高く評価されていることでした。また、壺屋焼は朝鮮陶工の教で質的にも進化したとのこと。それをモチーフに民謡「瓦屋節」が生まれたとのこと。式典は、人間国宝「照喜名朝一」氏の歌・三線で開幕、100名余の報道陣、関係者の参加で始まった。挨拶の中で「万国津梁の鐘」の銘文引用で沖縄の歴史文化を紹介したのは感激した。外国で沖縄の良と誇りを感じさせられ有意義な旅となりました。

また、壺屋焼は朝鮮陶工の教で質的にも進化したとのこと。それをモチーフに民謡「瓦屋節」が生まれたとのこと。式典は、人間国宝「照喜名朝一」氏の歌・三線で開幕、100名余の報道陣、関係者の参加で始まった。挨拶の中で「万国津梁の鐘」の銘文引用で沖縄の歴史文化を紹介したのは感激した。外国で沖縄の良と誇りを感じさせられ有意義な旅となりました。



行政区住民登録人口(11月末)

世帯数 669 総人口 1808
自治会加入 406 加入率 61%

定期清掃(第3日曜日)

リサイクル活動(同上)

1月行事

6日 消防出初式
10日 自治会「成人・生年祝」
11日 市成人式
16日 特定健診表彰式
18日 もちつき大会

・成人祝・生年祝(未年)

11日(土) 17:00~19:00
新成人・ひつじ年の皆さんの参加をお待ちしております。
大正8年、昭和6、18、30
42、54、平成3、15年
全員集合!!!



*防災講座・防火訓練 12月21日(日)

定期清掃・CGG活動も同時に開催で100名余の参加者で有意義な時間を過ごしました。防災は自らの命は自ら守る(自助)を基本として、公助、共助、そして特に隣近所の「近助」が一番大事とのこと。非常食も試食して和やかな講座となりました。消防による搬送法、水消火器を使用した消火訓練は、火災時に役立つ知識で参加者は身を乗り出し真剣に聞き入っていました。今後も定期的に講座を開き、災害に備えたいと考えています。一人ひとりが、防災、減災に取り組まれることを期待致します。



防災講座



非常食試食



CGG



消火器使用実践



搬送法

・モノレール駅名決定「てだこ浦西駅」

車内メロディーは軽快な「ひやみかち節」

石嶺 経塚 浦添前田 てだこ浦西

検討委は「新駅名は県民の関心も高く、難しい審議だった」と振り返っていたが、浦西駅は「てだこ駅」とする強敵案があった。市としては、県内外、国外も意識して東部で発展が約束されている地域に「てだこ」が相応しいと主張していた。浦西という名称は字名でもないし、駅周辺は前田地番である、マイナスイメージも出ていた。そこで、駅名アンケートで断トツ1位900票(2位700票)を獲得して発言力を高めた。また、10名の検討委員の一員の前田自治会長とも連携を密にして、後押しをして頂いた。加えて、モノレール社主催の最終意見交換会に元自治会長・名嘉山煌一氏始め、具志堅強志氏(F1)、大浦敏男氏(F73)も参加頂き、鋭い切込みで「浦西駅」を押し戻した。アンケートの高得票(民意)、浦西を冠した中学校、自治会、スーパー等が多数存在し内外に認知されていることを強弁した。その迫力に主催者側は揺さぶられた。また、車内メロディーはテンポの遅い「めでたい節」と軽快な「ひやみかち節」が提案されたが、「ひやみかち節」を推した。コンコースのアートガラスは(太陽・空・海)に決定した。⇒皆様のご協力に感謝致します。開通を楽しみに待ちましょう。



・第8回ゆいゆいフェスタ 12月7日(日)

浦西中学校区の8自治会が中心となり交流を深めるフェスタが開催された。地域の方々、企業、福祉団体の協力で地域力を発揮する場でもある。年々観客も増え好評を博している(参加、来場者延べ1,700名)今回は中学生・青年会が裏方で大活躍して喜ばれた。浦西自治会からは寿クラブによる、艶やかなムービーに身を包んだ「島のブルース」で会場を沸かせました。出店も2店出店し(肉汁店・多良間物産店)好評完売でホクホクでした。



・『ネパール便り 世界の秘境・ヒマール〜』 E-53 坂本氏

団地の皆さん・・・ナヤ バルサ 2015 コ スバカムナ (2015 新年 おめでとうございます) 【ナヤ (Naya) : 新しい バルサ (Barsha) : 年 スバカムナ (Shubhakamna) : おめでとうございます】

ネパールに来て6ヶ月経ちました。日常会話も少しずつ出来るようになりましたが、まだまだ上手にしゃべれません。幸いにも、職場では皆が理解してくれ、臨機応変に下手な英語を使ったりしながら対応しています。

今回は仕事で出かけた所から撮影したヒマラヤ山脈の写真と、休暇で国内旅行した時に国立公園でサイに出会った写真を紹介します。カトマンズから北へ約23kmの所に「カカニ」という集落があります。距離としてはさほど遠くはありませんが、道が悪く、しかも、危険なカーブが多いため、たどり着くには1時間半ほどかかりました。

カカニはダイコンとイチゴの産地として有名です。又、最近はニジマスの養殖で注目されています。これらは日本の海外青年協力隊員が指導した結果で、農家から非常に高く評価されています。私がこのカカニを訪れたのは11月11日でした。ダイコンの調査で行きましたが、ある農家のトマトを見てほしいとのことで訪れたところから撮った「ガネッシュ・ヒマール」です。しばらくの間、我を失った後にシャッターを押しました。

もう1枚の写真は10月の下旬に「ダサイン」というお祭りの長期休暇を利用して飛行機でインド国境の町「ネパールガンジ」へ行きました。ネパールガンジは西ネパールの交通の中心都市で、インドとの交易で栄えています。この町からクルマで3時間ほど西へ行くと「バルディア国立公園」があります。首都のカトマンズから遠く離れているため訪れる観光客は少なく、野生の動物(トラ、サイ、ワニ等)が活発に活動しているとの事です。

そのバルディア公園で、偶然にも1角サイに出会うことが出来ました。ジャングルの水たまりで水に浸かっているところで、雨期のシーズンが終えエサが豊富にある時期でしたので体全体が光っており、動物園のサイとは全く肌色が違っていました。それ以外に野生のゾウやワニも見ることが出来ましたが、残念ながらトラには会えることが出来ませんでした。案内役の方からサイに会えるのは滅多にないことで、ラッキーですと言われ、公園を後にしました。



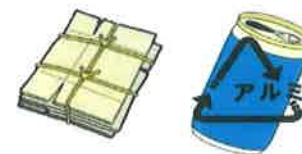
*リサイクル収益金

11月末実績
249,342円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。

*アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。



・浦添市臨時給付金支給室から

臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の申請期限が1月19日(月)までです。早めの申請を!

・特定健診のお知らせ

1月17日(土)18日(日)に浦添市保健相談センターで実施(対象:国保加入者で30歳以上の方)予約は1月6日(火)~9日(金)健診がまだの方は早めに予約しましょう。電話番号:889-6452